

■長老の会員から投稿があった。きのこをこよなく愛し、病症の身でありながら奥さんの助けを借りてきのこに会いに山に出かけたと綴られている。人の一生は皆それぞれであるが、このように心を寄せるものをずっと持ち続けていることは何と素晴らしいことだろう。(山) ■初めて会報編集に参加しました。投稿原稿からあふれる「きのこ愛」にクラクラでした。特に「手書き原稿」からは言葉以上のものが伝わってきて、胸が熱くなりました。編集委員でなければできなかった経験に、感謝です。(横) ■学名を調べたり触れたりしているとどうしてもラテン語の世界に踏み込むことになる。命名の背景や意味を探っているうちに現代ヨーロッパ諸語の血脈につながり、おもしろい。森羅万象は皆ラテン語とまで妄想が広がる。あ、読み書きができるわけではまったくありません。(ま) ■右も左もわからぬまま編集委員に加えていただき、どの原稿からも皆さまのキノコに対する熱い情熱を感じています。これからもっと勉強しますのでよろしく願います。(井) ■ブラジルでは1840年をさいごに確認されていなかった「flor-de-coco (ヤシの花)」とよばれる光るきのこが170年ぶり(2011年発表)に確認されているとのこと。同時期の江戸で描かれた‘月夜茸’の話題にわくわくします。続報が楽しみです。(公) ■千葉菌類談話会の会報の趣旨のひとつに「房総のきのこ情報を発信する」というものがあります。今回の会報の山本さんの報告はまさにその趣旨にそったものです。ありがとうございます。また新しい表紙シリーズも、この方針にそったものです。むかしの房総きのこ情報も歓迎です。みなさんも投稿をお寄せください。(光)

□本誌に加え、ホームページへのご意見や感想などもありましたらお聞かせください。またご要望も受け付けております。(事務局)

## 編集後記

ISSN 1881-9230

千葉菌類談話会通信 33号

CHIBA MYCOLOGICAL CLUB BULLETIN NO. 33

2017年3月

発行 / 千葉菌類談話会

編集 / 千葉菌類談話会編集幹事

千葉菌類談話会 連絡先

〒260 - 8682 千葉市中央区青葉町9 5 5 - 2

千葉県立中央博物館 吹春気付

ホームページアドレス <http://chibakin.la.coocan.jp/>